



校長室の窓

令和7年4月24日

学校だより第1号より

～月立小学校、出会いのスタート～

4月初旬は何日も雨が続きましたが、4月8日の始業式・入学式の日は、この日を待っていたかのように穏やかな春の日差しに迎えられて、令和7年度の気仙沼市立月立小学校がスタートしました。今年度の月立小学校は、児童15名、教職員10名です。

この度、月立小学校にお世話になることになりました島貫達也（しまぬきたつや）と申します。出身は仙台市です。初めて校長となり緊張した日々を過ごしていますが、素直な子供たちと一生懸命な教職員、そして温かい地域・保護者の皆様に囲まれて、とてもすばらしい学校に赴任させていただいたことを喜んでいます。

月立小は「子供を真ん中においた教育」を目指しています。子供たちを真ん中にした教育は、学校がこのすばらしい地域の中にあってこそだと考えます。八瀬川の清流の中での自然体験、日々の子供たちの見守りや主体的なPTA活動でとても協力的な保護者の皆様、地域の伝統芸能や文化・自然との体験を指導してくださる地域の皆々様。学校を包んでくれる自然環境と家庭・地域の皆様の存在に恵まれ、月立小はすばらしく幸せな学校です。

本校の学校教育目標は「ふるさとに誇りをもち夢と希望に満ちた心豊かでたくましい児童の育成」です。子供たちが自分たちを包んでくれる人の温かさや環境のすばらしさに触れ続けることこそが、子供たちが将来の新たな人・環境との出会いに「夢と希望」をもつことにつながるのだと考えます。何より私自身が、子供たちと一緒にこの八瀬で様々な活動に取り組んでいけることが楽しみで、わくわくしています。

これから1年間、日々の学習や様々な行事をとおして、子供たち一人一人が活躍し、それぞれがしっかり成長していけるよう後押ししていきます。保護者の皆様、そして地域の皆様には、本校の教育活動に対し、これまでと変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。